



HOPEES  
希望の声 届けます

佐藤 健太さん  
(前田)

震災直後から村や福島県の状況をインターネット等で発信し続けている健太さん。「自分の考えや思いを発信することで、改めて自分自身の考えや感じたことを確かめることにつながってきた。これからもたくさんの人に出会い、視野をどんどん広げていきたい」と話します。昨年行われた、福島の復興や新しい未来を生み出していくリーダー育成プログラム「ふくしま復興塾」では、「草刈りを仕事に！ 婦村宣言後の飯館村の環境整備を担う企業の設立」を企画し、相双地域での社会事業発表大会で見事、入賞を果たしました。「震災当初は、目の前に出てくるいろいろなことに対して広く大きく取り組んできた。婦村時期を前に、村にしっかりと根を張った活動を行いたいと考えている。最初から大きなことに取り組むのではなく、こつこつと確実に、まっすぐに歩いていきたい」



つくってたべよう  
「春菊のじゅうねん和え」

「食べれば10年長生きできる」という言い伝えから「じゅうねん」と呼ばれています！

- 材料
- ・春菊 …………… 300g
  - ・にんじん …… 40g
  - ・えごま(じゅうねん) …… 大さじ2
  - ・砂糖 …………… 大さじ1
  - ・しょう油 …… 大さじ1

- (作り方)
- ①春菊は約3cmに切り、にんじんは千切りにしてゆでる。
  - ②えごまをフライパンでさっと炒って、すり鉢でする。
  - ③すり鉢の中で、砂糖、しょう油、ゆであがった野菜を混ぜ合わせれば出来上がり。
- 「えごま」は通常の「ごま」と呼ばれる植物とは違うものです。ごまとは違った豊かな風味や芳香を持ち、栄養価も高いです。
  - さらに詳しい作り方は「きぼうチャンネル」の番組までの食卓をご覧ください。
- 協力：飯館村食を考える会

入札結果をお知らせします

入札日／2月18日 (単位：円)

工事(業務)の番号・名称	契約額(税込)	請負業者	完成予定
消防飯館分署給排水管切り回し工事	7,884,000	(有)長谷川電気工事	平成28年3月末
交通安全施設設置工事	1,134,000	濱田建設工業(株)	平成28年3月末
室外遊具「ちびっこ展望ジムすべり台付き」購入	1,620,000	(有)いわきワンダー社	平成28年3月末
村営住宅修繕実施設計業務	4,104,000	(株)邑建築事務所	平成28年3月末

入札日／2月29日 (単位：円)

深谷地区復興拠点(多目的交流広場エリア)残土受入工事	2,970,000	(有)福相建設	平成28年3月末
復興村営住宅深谷団地整備基本設計業務	3,996,000	(株)邑建築事務所	平成28年3月末
道路台帳整備(補正)業務	702,000	(株)中庭測量コンサルタント 福島営業所	平成28年3月末
災第2118号 飯樋川災害復旧工事	62,640,000	横山建設工業(株)	平成28年3月末
小学校仮設校舎北校舎棟床修繕工事	2,106,000	佐藤工業(株)	平成28年3月末
飯館分署等屋外整備工事	27,702,000	濱田建設工業(株)	平成28年3月末
飯館村交流センター第1期植栽周辺整備工事	15,930,000	濱田建設工業(株)	平成28年3月末
草野小学校体育館外壁修繕工事	2,916,000	関場建設(株)	平成28年3月末

こころの  
ぽけっと

お金で「幸せ」を  
買う方法

ある方にこんな話を聞きました。普通は「幸せはお金では買えません」と言いますね。でも実は、「お金で幸せをえる方法」があるんですよ。カナダで実験した例があるそうです。学生さんをA班とB班に分けて両方にお金を渡し、A班には「このお金を他人のためにだけ使うように」としてB班には「自分のためにだけ使うように」として指示を与えたそうです。しばらくしてから、それぞれの「幸せ度」をチェックしたら、自分のためにお金を使った学生より、他人のためにお金を使った方が圧倒的に「幸せ度」が上がっているという結果が出たそうです。

普通、「幸せな生活」は「お金をたくさん持っていて、何不自由なく贅沢に暮らす生活」のはずが「他人の幸せ」のためにお金を使った方が幸せを感じる程度が高くなるという話です。つまり、「他人を幸せにする」ということは「自分を幸せにすること」とイコールであるということになります。そう考えるとみると、世界の大富豪が他人のために寄付をするという話はよく聞きます。また、寄付の習慣が根付いている国もあります。特に、晩年に他人にお金を使う方は必ずといってよい程「これからの若者を支援したい」との思いが強くなるんだそうです。

今、私たちは多くの方から「いいたてつ子未来基金」や復興のためにということで「ふるさと納税」にお金をいただいています。全て正に、「他人のために」です。その私たちが少しでも「幸せ」を感じられるようにならなければなりません。したがって、しっかりと前を向いて復興に努めていく必要があります。そして私たちがさらに「幸せ」になるためには「他の方」や「次世代」にもお金を使っていく、あるいは「惜しまない」という考え方を持つ必要があるのだと改めて考えさせられた次第です。

平成28年3月15日 飯館村長 菅野 典雄